

2026年度  
九州大学大学院総合理工学府  
博士後期課程（社会人特別選抜）

# 学生募集要項

2026年4月入学者選抜

■ 出願資格審査を必要とする方へ

出願資格審査を必要とする方（募集要項の「6. 出願資格審査」の項参照）は、募集要項の後部にある「出願資格認定申請書」及び「研究従事内容証明書」等の様式を印刷し、必要事項を漏れなく記入の上、他の必要書類とともに提出してください。

2025年11月

九州大学大学院総合理工学府

## 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業、官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月31日までに取得見込みの者
  - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
  - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
  - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
  - (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
  - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2026年3月31日までに認められる見込みの者
  - (7) 文部科学大臣の指定した者
    - (a) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
    - (b) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - (8) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2026年3月31日までに24歳に達する者
- ※ 上記(7)又は(8)による出願をする者は、出願に先立ち6.に記載する出願資格審査を受けなければなりません。

## 2. 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員
総 合 理 工 学 専 攻	若干名

## 3. 出願期間

2026年1月5日（月）から1月9日（金）17時まで

## 4. 出願手続

### ◆概要

- (1) 志願者は、下記の『オンライン出願』を行う必要があります。  
なお、修士課程成績証明書、修士課程修了（見込）証明書については、紙媒体の書類提出も必要です。修士課程成績証明書、修士課程修了（見込）証明書は、オンライン出願の手続きを行うのみでは出願を受理することはできないので、注意してください。

- (2) まず総合理工学府ホームページから『オンライン出願』を行ったのち、『紙媒体の書類提出による出願』を行ってください。
- (3) 各出願の詳細は、以下の各項目を確認してください。

#### ▼オンライン出願について

- (1) まず、総合理工学府ホームページから「総合理工学府入試出願専用のアカウント（以下、アカウント）」作成を行ってください。アカウントの作成にはメールアドレスが必要です。なお、作成したアカウントは作成日から直近の3月31日まで有効で、有効期間中はひとつのアカウントで複数の総合理工学府入試へ出願することが可能です。入試出願のたびにアカウントを作成する必要はないので注意してください。
- (2) アカウントを作成すると「マイページ」へのログインが可能になるので、ログインしてください。
- (3) 「マイページ」の「現在の状況」欄に、出願可能な入試が表示されているので、出願を希望する入試（ここでは「博士後期課程・社会人特別選抜（2026年4月入学）」）を選択してください。
- (4) 必要事項の入力および関係書類のスキャンデータ（PDF等）のアップロードを行ってください。
- (5) 必要事項の入力および関係書類のアップロードを行うと、入力事項等の確認画面が表示されます。不備・不足等がなければページ下部の「申請完了する」ボタンを押下してください。その後「マイページ」が表示されますが、「マイページ」の「現在の状況」欄に『申請完了済みです』と表示されていれば、オンライン出願は完了です。
- (6) オンライン出願の際の入力事項やアップロードされた書類に不備がある場合、出願を受理できないことがあるので、注意してください。
- (7) 総合理工学府で不備があると判断した場合を除き、出願期間後に入力された出願情報の修正は受け付けません。

#### ▼紙媒体の書類提出による出願について

- (1) オンライン出願を終えたのち、以下の必要書類を封筒に封入の上、封筒表面に「博士後期課程（社会人特別選抜・2026年4月入学）入学試験関係書類在中」と朱書きして、「3. 出願期間」内に「5. 提出先」窓口への持参もしくは郵送により提出してください。なお、郵送の場合は出願期間内に必着とします。
- (2) 原則として、郵送で提出された出願書類を受理しているかどうかの問い合わせには応じません。また、総合理工学府から受理したことを連絡することはありません。よって、出願書類を郵送により提出する場合は、書留郵便等の配達状況がわかる形での提出をお勧めします。
- (3) 原則として提出された書類は返却しません。また、総合理工学府で不備があると判断した場合を除き、一度提出された出願書類の修正や再提出は受け付けません。
- (4) 提出された書類に不備がある場合、出願を受理できないことがあるので、注意してください。

#### ▼双方の出願手続きを終えたあとについて

- (1) 総合理工学府において、出願書類等のチェックを行います。不備等がなければ2月上旬頃に「マイページ」内で受験票をダウンロードすることができるようになります。受験票は志願者各自で印刷し、入学試験当日に試験会場へ持参してください。
- (2) 出願内容に不備や疑義があった場合、総合理工学府（九州大学筑紫地区教務課）からメールや電話等で志願者へ確認もしくは再提出等を指示することがあります。不備等がない場合、出願内容等について総合理工学府から連絡することはありません。

#### 【注意】

出願(出願資格の事前審査を申請する場合を含む)に当たっては、出願前に、研究指導を受けることを希望する教員（又は専攻）に連絡を取り、出願について相談してください。また、連絡を取った教員名をオンライン出願フォーム中の入力欄に入力の上、出願してください。

No	書類種別	オンライン出願	紙媒体の書類提出による出願
1	出願書類提出確認票	対応不要	必要事項を記入し、出願書類の一番上に添付してください。
2	顔写真	上半身脱帽正面向き無背景、直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MB以下のJPG又はPNGデータをアップロードすること。	対応不要
3	履歴書	以下の九州大学大学院総合理工学府のホームページ <a href="https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/exam/doctor/">https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/exam/doctor/</a> に掲載する所定の様式（ワードファイル）をダウンロードし、作成したファイルをPDFファイルに変換してアップロードすること。 ※手書きのファイルは不可	対応不要
4	推薦書  最終出身大学院の学長、学府長、研究科長又は指導教員が作成したもので推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。（様式随意） （1. 出願資格(7)又は(8)の者は事前に提出するので不要） ※ 本学府修士課程を修了した者もしくは2026年3月に本学府修士課程を修了予定の者は提出不要	スキャンデータをアップロードすること。 （ファイル形式はPDF） なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。 ※ 写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。	対応不要
5	研究計画書（様式1）  本学府所定の様式に、在学中に行う専攻分野に関連する研究計画を記入してください。	スキャンデータをアップロードすること。 （ファイル形式はPDF） なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。 ※ 写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。	対応不要
6	研究業績概要調書（様式2）  本学府所定の様式に、在職中に行った専攻分野に関連する研究業績を記入してください。	スキャンデータをアップロードすること。 （ファイル形式はPDF） なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。 ※ 写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。	対応不要

7	<p>修士学位論文（写）</p> <p>（1. 出願資格(7)又は(8)の者は不要）  ※本学府修士課程を修了した者もしくは2026年3月に本学府修士課程を修了予定の者は提出不要</p>	<p>スキャンデータをアップロードすること。  （ファイル形式はPDF）</p> <p>なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。  ※写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。</p>	<p>対応不要</p>
8	<p>修士課程成績証明書</p> <p>最終出身大学院が発行したもの  （1. 出願資格(7)又は(8)の者は不要）  ※本学府修士課程を修了した者もしくは2026年3月に本学府修士課程を修了予定の者は提出不要</p>	<p>スキャンデータをアップロードすること。  （ファイル形式はPDF）</p> <p>なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。  ※写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。</p>	<p>原本を提出すること。</p>
9	<p>修士課程修了（見込）証明書</p> <p>最終出身大学院が発行したもの  （1. 出願資格(7)又は(8)の者は不要）  ※本学府修士課程を修了した者もしくは2026年3月に本学府修士課程を修了予定の者は提出不要</p>	<p>スキャンデータをアップロードすること。  （ファイル形式はPDF）</p> <p>なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。  ※写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。</p>	<p>原本を提出すること。</p>
10	<p>入学検定料支払いに関する書類</p> <p>入学検定料：30,000円</p> <p>※欄外に記載の「入学検定料の支払い方法について」を参照の上、入学検定料を納付し、次の(a)又は(b)のいずれかを提出すること。  (a)コンビニエンスストアで支払った場合『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙  (b)クレジットカードで支払った場合『申込内容照会結果画面』（A4サイズ）</p> <p>※『九州大学大学院の修士課程等を修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学する場合等の検定料及び入学料の取扱いについて』に該当する者は提出不要。</p>	<p>スキャンデータをアップロードすること。  （ファイル形式はPDF）</p> <p>なお、記載事項が不鮮明な場合、出願を受理できないことがあるので注意すること。写真データ、写真からPDFへ変換されたデータは不可。</p>	<p>対応不要</p>

○入学検定料の支払い方法について

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、(a)コンビニエンスストア、又は(b)クレジットカードにより支払うこと(海外からの支払いの場合は、(b)のみ)。支払方法の詳細は、本要項に掲載の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者の負担とする。

【支払い期間】

2025年12月22日(月)～2026年1月9日(金)

【入学検定料支払いに関する提出書類】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙(様式3)」に貼付し、スキャンデータをオンライン出願システムにアップロードすること。

(b) クレジットカードで支払う場合

『申込内容照会結果』(A4サイズ)のスキャンデータをオンライン出願システムにアップロードすること。

(注意)

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

○九州大学大学院の修士課程等を修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学する場合等の検定料及び入学料の取扱いについて

次の各号のいずれかに該当する者については、検定料及び入学料は必要ありません。

- 1 九州大学大学院の修士課程を2026年3月に修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学しようとする者
- 2 九州大学大学院の一貫制博士課程の2年次を2026年3月に修了し、修士の学位を授与された後、引き続き本学府の博士後期課程へ入学しようとする者
- 3 九州大学大学院の専門職学位課程を2026年3月に修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ入学しようとする者

## 5. 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地

九州大学筑紫地区事務部教務課教務係

電話(092)583-7512

※問い合わせ用電子メールアドレス：[igsesadmissions@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:igsesadmissions@jimu.kyushu-u.ac.jp)

## 6. 出願資格審査

1. 出願資格(7)又は(8)による出願をする者には、出願に先立ち、資格審査を行いますので、次の書類を「5. 提出先」へ提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「総合理工学府 博士(社会人)出願資格審査」と朱書きしてください。

### (1) 提出書類

1	出願資格認定申請書 (様式4)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。
2	推薦書 (様式5)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもので推薦書を提出するか否かは志願者の任意とします。
3	研究従事内容証明書 (様式6)	本学府所定の様式により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの。
4	出願資格審査用履歴書 (様式7)	本学府所定の様式に必要事項を漏れなく記入してください。
5	資格免許証等(写)	専攻分野に関連する参考となる書類の写しで、簡易な説明を付したものを。
6	卒業証明書	最終出身大学等が発行したもの
7	成績証明書	最終出身大学等が発行したもの

### (2) 提出期間

要項発表の日から2025年12月3日(水)17時までの期間

### (3) 審査結果

審査の結果については、2025年12月15日(月)までに、申請者あてに通知しますので、資格があると認定された者は、4の出願手続きを行ってください。

## 7. 選抜の方法、試験期日及び試験場

- (1) 入学者の選抜は、出願書類の内容及び学力検査の成績を総合して行います。
- (2) 学力検査は、次の日程で行います。

試験日	試験科目	試験場
2026年2月10日(火)～ 2月13日(金)の間のいずれか1日 (詳細は、後日連絡します。)	専門科目及び修士学位論文等について、筆記試験又は口頭試問を行う。	九州大学大学院 総合理工学府 (筑紫地区)

※ 専攻の判断により、オンラインによる口頭試問を実施することがあります。詳しくは、指導予定教員にお問い合わせください。

## 8. 合格者発表

2026年2月24日(火)12時、筑紫地区事務部広報掲示板(共通管理棟玄関横)に掲示、及び総合理工学府WEBサイトに掲載します。また、合格者に対しては、後日郵送により判定結果を本人あてに通知します。なお、総合理工学府WEBサイトへの掲載は定刻より遅れることがあります。

## 9. 入学の時期

2026年4月1日

## 10. 入学手続

- (1) 手続期間：2026年3月2日(月)～3月9日(月)17時(予定)
- (2) 入学手続の際に納付する経費等

入学料：282,000円（予定）

※進学する場合等の入学料の取扱いについては、前に掲載の「九州大学大学院の修士課程等を修了し、引き続き本学府の博士後期課程へ進学する場合等の検定料及び入学料の取扱いについて」を参照してください。

授業料：（前期分）267,900円（年額 535,800円）（予定）

※上記の納付金額（入学料及び授業料）は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

### 1 1. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上において必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、2025年12月3日（水）までに『5. 提出先』へ相談してください。

### 1 2. 注意事項

- (1) 出願受理後は、記載事項の変更、検定料の払い戻しなどには一切応じません。
- (2) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（筑紫地区共通管理棟）で再発行を受けてください。
- (3) 試験場への交通機関
  - ・ JR九州 鹿児島本線 大野城駅 下車 徒歩 約5分
  - ・ 西鉄大牟田線 白木原駅 下車 徒歩 約15分
- (4) その他出願に際して、疑問、不明な点があれば、5の提出先へ問い合わせてください。

### 1 3. 出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
  - ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
  - ② 本学への入学を許可された者の住所・氏名等を学籍関係業務等で利用します。
  - ③ 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できない形で本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。
- (3) 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下のWebページを確認してください。  
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/disclosure/privacy/>

### 1 4. 不正行為に対する対応

出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合、または試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が認められた場合は、合格後ならびに入学後においても遡って合格、及び入学を取り消すことがあります。

## 九州大学大学院総合理工学府概要

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

昨今、情報化、グローバル化、少子高齢化、地球環境や経済活動の持続可能性などの社会問題の深刻化が進み、我々人類が未経験の課題が出現しています。こうしたパラダイムシフトに伴い、理工学分野の研究者・技術者に求められる役割も大きく変貌しています。総合理工学府は激変するこの社会環境に対応するため、大学院組織改革を断行し、情報科学を駆使しながら環境・エネルギー関連問題の解決を先導できる理工学系の研究・技術人材の育成に取り組みます。

総合理工学府総合理工学専攻は1学府1専攻体制です。入学後は、専門力を深めるとともに情報応用力、異分野展開力を強化するカリキュラムが準備されています。大学院博士後期課程修了時には、六つの専門領域（材料理工学メジャー、化学・物質理工学メジャー、デバイス理工学メジャー、プラズマ・量子理工学メジャー、機械・システム理工学メジャー、地球環境理工学メジャー）のうちいずれか一つを身につけると共に、講義・演習で学んだ異分野の理工学系および応用情報系の知識や技能を併せ持つ研究人材、高度専門技術人材を育成します。

なお、詳細については、総合理工学府ホームページ <<https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/>> を参照してください。

## Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences, Kyushu University

Serious environmental problems have emerged in recent years. Many of these problems are man-made and have a global impact, which is threatening the quality of life. We are challenged to contribute solutions to these problems by developing innovative approaches in the field of science and technology. For a sustainable society, promoting environmentally benign technology is necessary.

The Interdisciplinary Graduate School of Engineering Sciences is an academic organization that offers graduate programs exclusively. This graduate school comprises one department: The Department of Interdisciplinary Engineering Sciences. Our graduate school aims to nurture the engineers and researchers who would like to play an active role in the establishment of a global society with sustainable growth through advanced specialist knowledge on symbiotic technology and the ability to explore and resolve issues regarding materials, energy, and the environment as well as their integrated fields. The curriculum of the department is designed to provide education at several levels, with some joint lecture courses, interdisciplinary lectures, and more integrated cross lectures in different research areas for all students. It is our special mission to provide students with necessary know-how for them to become engineers and researchers of high potential and be well-versed in issues and solutions pertaining to environmentally benign technology.

For details, please access the following site:

<<https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/en/>>.

[別掲]

## 総合理工学専攻の系と募集対象研究室(教育分野)一覧

※ 以下の表では、研究室の研究分野を分かりやすくするために、「系」というカテゴリーを導入しています。  
研究室番号は、出願書類作成の際、希望研究室名とともに記入するためのものです。

### I 類に属する研究室 / Laboratories belong to Category I

系 Section	研究室 (教育分野) 【教員】 Laboratory 【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
電子・化学機能 Electronic and Chemical Properties	機能材料物性学【渡邊(賢)・末松】 Theory of Functional Materials【Watanabe・Suematsu】	I-1
	熱・電子機能物性理工学【末國】 Chemistry and Physics of Functional Materials【Suekuni】	I-2
	機能無機材料工学【永長・北條】 Functional Inorganic Materials Chemistry【Einaga・Hojo】	I-3
	無機ナノ構造解析学【荻原】 Design and Analysis of Ceramics Nanostructure【Ogiwara】	I-4
	新素材開発工学【山田・上原】 Development of Advanced Materials【Yamada・Uehara】	I-5
	ナノ物質合成科学【草田】 Nanomaterial Synthesis【Kusada】	I-6
バルク機能 Bulk Properties	構造材料物性学【光原】 Structural Materials Science【Mitsuhara】	I-7
	量子材料物性学【波多】 Electron Microscopy for Materials【Hata】	I-8
	材料構造制御学【飯久保・嶋田】 Materials Structure Design【Iikubo・Shimada】	I-9
	プロセス設計工学【寒川・草場】 Process Design Engineering【Kangawa・Kusaba】	I-10
	機能物性評価学【大橋】 Characterization of Material Structure and Properties【Ohashi】	I-11
表面・界面・材料デ バイス Surface, Interface and Device Properties	表面物質学【中川】 Surface Science【Nakagawa】	I-12
	計算材料科学【辻】 Computational Materials Science【Tsuji】	I-13
	先端機能材料【藤野】 Advanced Functional Materials【Fujino】	I-14
	先進ナノマテリアル科学【吾郷】 Advanced Nanomaterials Science【Ago】	I-15
	化学反応工学【林(潤)・工藤】 Chemical Reaction Engineering【Hayashi・Kudo】	I-16
	ナノ材料・デバイス科学【齊藤(光)】 Nanomaterial and Nanodevice Science【Saito】	I-17
	ナノマテリアル国際ラボ【村山・Ho・Yip・井原】 International Laboratory for Nanomaterials【Murayama・Ho・Yip・Ihara】	I-18

分子物性科学 Molecular and Materials Science	生体分子機能化学【村田】 Biomolecular function chemistry【Murata】	I-19
	計算分子機能【森】 Computational Molecular Science【Mori】	I-20
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	生命有機化学【新藤・狩野】 Organic Chemistry for Life Science【Shindo・Kano】	I-21
	機能有機化学【國信】 Design of Advanced Organic Compounds【Kuninobu】	I-22
分子材料・プロセス 工学 Molecular Materials and Process Engineering	材料電気化学【栄部・猪石】 Materials Science for Electrochemistry【Sakaebe・Inoishi】	I-23
	光・電子機能化学【アルブレヒト】 Photo- and Electro-Functional Chemistry【Albrecht】	I-24
	機能分子工学【奥村】 Molecular Engineering of Functional Materials【Okumura】	I-25
	高分子材料物性学【横山・リュウ】 Advanced Polymer Science and Technology【Yokoyama・Lu】	I-26
	高分子化学【スプリング】 Polymer Chemistry【Spring】	I-27
	素子材料科学【宮脇・中林】 Device Materials Science【Miyawaki・Nakabayashi】	I-28
	機能有機材料化学【藤田】 Functional Organic Materials Chemistry【Fujita】	I-29

Ⅱ類に属する研究室 / Laboratories belong to Category II

系 Section	研究室(教育分野)【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
デバイスシステム Device Systems	電離反応工学【山形・堤井】 Ionized Gas Dynamics【Yamagata・Teii】	II-1
	光デバイス工学【濱口】 Opto-Electronic Device【Hamaguchi】	II-2
	光エレクトロニクス【浜本】 Opto-Electronics【Hamamoto】	II-3
	電子物性デバイス工学【吉武・アブデルラーマン】 Electronic Physical Device Engineering【Yoshitake・Abdelrahman】	II-4
	非線形物性学【森野】 Nonlinear Physics【Morino】	II-5
	機能デバイス工学【王】 Functional Device Engineering【Wang】	II-6
	電子システム工学【服部】 Electronic System Engineering【Hattori】	II-7
	パワーデバイス工学【齋藤（渉）】 Power Device Engineering【Saito】	II-8
	電力変換システム工学【西澤】 Energy Electrical Engineering【Nishizawa】	II-9
	応用プラズマ・量子 Plasma Application and Quantum Engineering	プラズマ応用理工学【林（信）・柳生】 Plasma Science and Engineering【Hayashi・Yagyu】
先進宇宙ロケット工学【山本（直）・森田】 Advanced Space Propulsion Engineering【Yamamoto・Morita】		II-11
物質移動反応工学【片山】 Mass Transfer Reaction Engineering【Katayama】		II-12
核融合プラズマ Fusion Plasma	核融合プラズマ物性理工学【井戸】 Fusion Plasma Physics and Engineering【Ido】	II-13
	核融合システム理工学【花田】 Fusion Plasma Science and Technology【Hanada】	II-14
	先進プラズマ理工学【出射・池添】 Advanced Plasma Science and Engineering【Idei・Ikezoe】	II-15
	先進核融合情報制御理工学【長谷川】 Advanced Fusion Information Control Engineering【Hasegawa】	II-16
	プラズマ科学【田中】 Fusion Science【Tanaka】	II-17
基礎プラズマ Fundamentals of Plasma	核融合プラズマ理工学【永島】 Plasma and Fusion Physical Science【Nagashima】	II-18
	非平衡プラズマ力学【文】 Non-Equilibrium Plasma Dynamics【Moon】	II-19
	プラズマ非線形現象理工学【山田】 Nonlinear Plasma Science【Yamada】	II-20
プラズマ理論・シミュレーション Theory and Simulation for Plasma	シミュレーションプラズマ物理学【糟谷】 Plasma Simulation Physics【Kasuya】	II-21
	理論プラズマ物理学【小菅】 Theoretical Plasma Physics【Kosuga】	II-22
	原子・分子・光科学【加藤】 Atomic Molecular Optical Science【Kato】	II-23

Ⅲ類に属する研究室 / Laboratories belong to Category III

系 Section	研究室 (教育分野) 【教員】 Laboratory 【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
エネルギー環境学 Energy and Environment	エネルギー流体科学【チョートウ】 High-speed Gas Dynamics 【Kyaw Thu】	III-1
	エネルギー熱物理科学【渡邊（裕）・甲斐】 Thermal Science and Energy 【Watanabe・Kai】	III-2
	熱エネルギー変換システム学【宮崎】 Thermal Energy Conservation Systems 【Miyazaki】	III-3
	都市環境科学【池谷】 Urban Environmental Sciences 【Ikegaya】	III-4
社会空間環境学 Social Space and Environment	サステナブル居住環境学【萩島】 Sustainable Built Environment 【Hagishima】	III-5
	建築環境工学【伊藤】 Architectural Environmental Engineering 【Ito】	III-6
	環境エネルギーシステム学【ファルザネ】 Energy and Environmental Systems 【Farzaneh】	III-7
再生可能エネルギー 工学 Renewable Energy Engineering	生体エネルギー工学【東藤】 Bioenergy Engineering 【Todo】	III-8
	海洋環境エネルギー工学【胡・朱】 Marine Environment and Energy Engineering 【Hu・Zhu】	III-9
	風工学【内田】 Wind Engineering 【Uchida】	III-10
流体環境学 Fluid Environment	宇宙流体環境学【松清】 Space Environmental Fluid Dynamics 【Matsukiyo】	III-11
	環境流体システム学【杉原】 Environmental Hydrodynamics 【Sugihara】	III-12
	水環境工学【エルジャマル】 Water and Environmental Engineering 【Eljamal】	III-13
大気環境学 Atmospheric Environment	大気物理【岡本・山本（勝）・佐藤】 Atmospheric Physics 【Okamoto・Yamamoto・Sato】	III-14
	気候変動科学【竹村・江口・道端】 Climate Change Science 【Takemura・Eguchi・Michibata】	III-15
	大気環境モデリング【弓本】 Atmospheric Environment Modeling 【Yumimoto】	III-16
海洋環境学 Ocean Environment	海洋環境物理【時長・市川】 Descriptive Marine Physics 【Tokinaga・Ichikawa】	III-17
	海洋循環力学【千手・遠藤】 Ocean Circulation Dynamics 【Senjyu・Endoh】	III-18
	海洋力学【磯辺・木田】 Ocean Dynamics 【Isobe・Kida】	III-19
	海洋モデリング【広瀬】 Ocean Modeling 【Hirose】	III-20

# 九州大学 入学検定料払込方法

## 1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



- ※番号取得後に入カミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※クレジットカード・銀聯網は決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。



## 2 お支払い



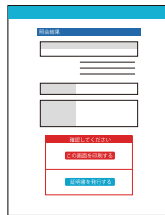
## 3 出願

### 【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して出願書類に同封して出願。

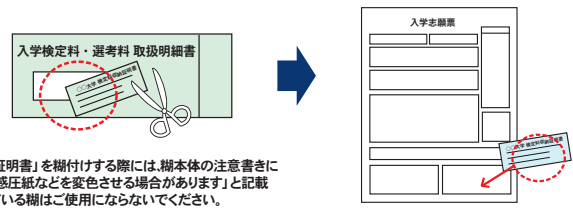
**<注意>**  
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※当サイトでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。



### 【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印刷」不要です。

### ⚠ 注意事項

- 出願期間を要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトを確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【**収納証明書**】を印刷して出願書類に貼付してください。
- 「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限りです。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトを確認ください。
- 銀聯網でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。(携帯電話からはお支払いできません)
- 取扱いいコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

## 出 願 書 類 の 提 出 確 認 票

提出書類の記載不備等がないことを確認して、あなたが提出する出願書類の全てについて、先頭の□の欄にチェック（✓又は✕）を入れ、出願書類一式の一番上にこの票を載せて提出してください。

なお、提出するものは出願資格により異なりますので、学生募集要項の「4. 出願手続」の項で確認してください。

出願資格の事前審査申請の場合は「6. 出願資格審査」の項を確認してください。

	出 願 書 類 名
□	修士成績証明書
□	修士修了（見込）証明書

※各様式の「受験番号欄」は、記入しないでください。

（出願資格の事前審査申請関係）

□	出願資格認定申請書（様式4）
□	推薦書（様式5）※任意
□	研究従事内容証明書（様式6）
□	出願資格審査用履歴書（様式7）
□	資格免許証等（写）
□	卒業証明書
□	学部成績証明書

（本学府から連絡をとる場合の連絡先の届）

ふ り が な 氏 名		下 記 に 連 絡 を と る 順 番 を 記 入 し て く だ さ い。
現 住 所	〒	
電 話 番 号	自 宅 電 話	
	携 帯 電 話	
	帰 省 先	
	大 学 研 究 室	
電 子 メ ー ル ア ド レ ス		

## 研究計画書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

氏名	生年月日	(西暦) 年 月 日
研究の目的 (400字程度)		
研究計画及び研究方法 (1000字程度)		

(西暦) 年 月 日

氏名

受験番号※

## 研究業績概要調書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

氏名		生年月日	(西暦)	年	月	日
研究業績						
学術論文、研究報告 特許等の名称	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	共著者又は 共同発表者名	備考		

(西暦) 年 月 日

氏名

## 「入学検定料・選考料 取扱明細書」貼付用台紙

コンビニエンスストアで支払いをした場合は、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を下の枠内に貼付し、スキャンデータをオンライン出願システムにアップロードすること。

クレジットカードで支払いをした場合は、「申込内容照会結果画面」(A4 サイズ)のスキャンデータをオンライン出願システムにアップロードすること。

2026年度 博士後期課程 入学試験 (社会人特別選抜・4月入学)			
志望学府	※ 総合理工学府	受験番号	※
フリガナ 氏 名		志 望 類	
住 所 等	〒 - (TEL - - )		
「入学検定料・選考料 取扱明細書」貼付欄			

※志望学府および受験番号欄は記入不要。

受験番号※

## 出願資格認定申請書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

九州大学大学院総合理工学府長 殿

この度、貴大学大学院総合理工学府博士後期課程に入学を志願するに当たり、出願資格の認定をうけたく、所定の書類を添えて申請します。

記

出願にあたり連絡を取った教員名		研究室番号	
ふりがな 志願者氏名			
生年月日	(西暦) 年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
現住所	〒 ー		
	携帯電話		
	電子メールアドレス		
現職			
学 歴 ・ 職 歴			
研究業績並びに学会及び社会における活動等			

受験番号※

# 推 薦 書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

九州大学大学院総合理工学府長 殿

( 志 願 者 情 報 )

志 望 類

所 属 ・ 職 名

氏 名

生 年 月 日 (西暦 年 月 日)

(所見及び推薦理由：入学志願者の研究経過、研究計画に対する所見及び能力等について記入してください。)

(入学志願者の入学後の企業等における身分)

標記の者について、上記のとおり証明します。

(西暦) 年 月 日

所 属 機 関 名

職 名

氏 名

(職印)

受験番号※

## 研究従事内容証明書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

九州大学大学院総合理工学府長 殿

(志願者情報)

志望類

所属・職名

氏名

生年月日 (西暦) 年 月 日

(出願資格認定申請用)

	勤務(研究)期間	勤務所属	主な職務(研究)内容
職			
歴			
研究計画に関する過去の職務内容 (500字程度)			

標記の者について、上記のとおり証明します。

(西暦) 年 月 日

所属機関名

職名

氏名

(職印)

受験番号※

## 出願資格審査用履歴書

(2026年度 総合理工学府 博士後期課程 社会人特別選抜)

氏	名	
学 歴		
年	月	高等学校又は高等専門学校卒業から記入してください。 外国人は、小学校入学から記入してください。
職 歴		
年	月	

注1. 学歴、職歴の欄には、出願時（現在）の身分がはっきりするように「現在に至る」等を最後の履歴事項の次の欄に記入してください。

注2. 履歴に空白期間がないように予備校通学等も含めて記入してください。